

~~~~~ ○ ~~~~~  
午後3時00分 開会

○議長（松本英隆君）

ただいまの出席議員数は12人です。定足数に達していますので、ただいまから令和6年2月大治町議会臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

議事に入る前に先立ちまして、このたび能登半島地震により犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を表するために黙禱を行いたいと思います。

皆様、御起立をお願いします。黙禱。

[黙 禱]

○議長（松本英隆君）

お直りください。

御着席ください。ありがとうございました。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、10番林 健児議員、11番吉原経夫議員を指名します。

日程第2、会期の決定についてを議題とします。

議会運営委員長から会期の報告を求めます。

○議会運営委員長（林 健児君）

本日、議会運営委員会を開会し、令和6年2月大治町議会臨時会の会期を本日1日限りと決定いたしましたので御報告します。

○議長（松本英隆君）

お諮りします。

議会運営委員長の報告どおり、会期は本日1日間とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日間と決定いたしました。

日程第3、議案第1号令和5年度大治町一般会計補正予算（第9号）を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

○町長（村上昌生君）

議案第1号令和5年度大治町一般会計補正予算（第9号）。

令和5年度大治町の一般会計補正予算（第9号）は、次に定めるところによる。

第1条第1項、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1669万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ113億205万1000円とする。

第1条第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正による。

第2条、繰越明許費の追加は、第2表繰越明許費補正による。

第3条、債務負担行為の追加は、第3表債務負担行為補正による。令和6年2月7日提出、大治町長。

今回の補正の主な内容は、歳出におきましては、民生費において、子ども医療費を1075万円増額し、令和6年4月から放課後児童クラブに入所できなかった児童の預かりを行うための準備費用として子どもの居場所づくり事業費として53万9000円計上し、使用済みおむつの保管用ごみ箱の購入費用について保育所を支援するため、保育環境改善等事業費補助金を145万8000円増額し、教育費において、医療的ケア児の校内での移動を円滑にするため、大治南小学校屋外通路段差解消工事として14万5000円計上し、一般校具備品を380万6000円増額するものでございます。

歳入におきましては、福祉医療費支給事業医療費補助金を252万6000円、保育対策総合支援事業費補助金を97万2000円増額し、児童福祉事業寄附金として3万円計上し、財政調整基金繰入金を1317万円増額するものでございます。

○議長（松本英隆君）

これから質疑を行います。

質疑のある方、どうぞ。

11番吉原議員。

○11番（吉原経夫君）

11番吉原経夫でございます。まず13ページ14ページ、子どもの居場所づくり事業費についてお聞きいたします。議案説明にありましたように西部児童クラブがちょっと4月から定員を超えるということでお聞きをしております。これは今年度も4月から同じような事業、今年度だと思ったんですがやっていると記憶しているんですが、やはり定員が足りないなら、ここはもうイレギュラーで10年に一遍とかいうなら別ですが、もう何年も続くようだったらこれは対策を考えなきゃいけないかなと思うんですが、それでどのように考えてこの事業をやられたのかということでお聞きしたいと思います。

もう少し詳しくお聞きしますと、まず今の西部児童クラブの施設、これは施設がいっぱいで定員がふやせないというようなことを社会福祉協議会の方からお聞きしたんですが、施設の要件なのか、支援員の方がやっぱり少ないためにできないのか。その点どうなのか。

また、放課後児童クラブですと国・県が3分の1ずつ補助する。町が3分の1。今回

の事業、放課後児童クラブではないから全額町の持ち出しなんですね。それも子どもの居場所事業、いろいろ名前をつけられていますが施設要件とか職員の要件とか私はないんじゃないかなと思うんですが、そこら辺どうなっているのか。職員の研修をするというのにそういう決まったものがない。放課後児童クラブは当然あるから職員研修ができるんですが、そこら辺ないのにどうやって職員研修をやるのか。

あと、業者委託ということですが、どういったところに委託していくのか。ちゃんと安全性など担保できるのか。そこら辺トータルでお聞きしたいと思います。

あともう1点、その下の保育所運営費の保育環境改善事業でございます。使用済みおむつに関しては他の市町村、持ち帰りではなくて自園で処理するということが進んでいるように聞いております。大治町はこの事業、ごみ箱の購入が今年度の4月1日からということで使用済みおむつについてどのように今年度やられているのかと。昨年度からも含めてですが、どのようにやられているのかと。

また、使用済みおむつに関しては、市町村によっては市町村がある程度費用を負担しているところもありますが、今回これはごみ箱だけの件で民間事業者が費用を負担、廃棄の処分の費用は負担しているのか。そこら辺トータルでお聞きしたいと思います。まず1点目は以上で終わります。

#### ○子育て支援課長（古布真弓君）

子どもの居場所づくり事業につきましては、確かに今年度も実施させていただきました。来年度におきましては、当初夏休みのみに対応を検討しておったんですが、予想を超えて児童の申し込みがあったということのを考慮いたしまして年度当初から実施することといたしました。なお、この事業につきましては、現在のところあと4年ほどは西小学校区の子供の数が多いということを踏まえ、現在のところ4年間程度を実施する予定をしているところでございます。

あと、この事業につきまして補助金がないというところではございますが、児童クラブではないので児童クラブの補助金はないんですが、放課後児童クラブの待機児童が解消するまでの緊急的な措置として、待機児童が10人以上いる市町村において放課後の子供の居場所を確保する事業を実施する場合、保育対策総合支援事業補助金というものがございまして、この事業が該当するということであれば補助金の確保に努めていきたいと考えております。

あと、職員に対する研修でございますが、職員体制につきましては放課後児童クラブと同じように常時2名体制を予定しております。なお、そのうち1名については教員などの有資格者を配置する予定をしております。ですので、研修につきましても今予定しておりますのは、子供との接し方、コミュニケーションについて、あと安全対策というような研修を実施していただく予定をしているところでございます。

あと、どこに委託をするのかというところでございますが、町内で活動している子育て

て支援団体に委託を予定しております。

続いて、保育環境改善等事業費補助金につきましてのおむつの処分でございますが、今現在も全ての園がお持ち帰りではなくて園での処分を行っております。その負担につきましては、園によりますが一部保護者に負担を求めているところと、園が費用を負担しているところとさまざまな対応をいただいているところでございます。ただ、今回につきましては、今持っているごみ箱で保管が不足するということもございまして追加などで購入するという要望がありまして予算計上したものでございますのでよろしくお願いたします。

西部の児童クラブの定員なんですが、現状、今の西部児童クラブ定員68名になりますが、現状それ以上ふやすというものは困難な状況であるということで他の公共施設で今回居場所づくり事業を実施するものでございます。以上です。

○議長（松本英隆君）

他にございませんか。

11番吉原議員。

○11番（吉原経夫君）

るる答弁いただきましてありがとうございます。ただ、放課後児童クラブ定員を超えていると。だから対策を考えなきゃいけない。そのとおりです。ただ、今お聞きしたら今年度来年度、それで終わるならまだしも4年間は続くと。そういう見込みだという中では、これは放課後児童クラブの定員をふやす。今の西部児童クラブの施設でできなければ、サテライトで以前やられたこともあります、八ツ屋とかで。西條コミセンでサテライトやる、多世代でサテライトやる、いろんなことができる。そこら辺社協さんに指定管理しておるわけですが、社協さんがやってもらえるのかもありませんが、やってもらえなければ自前でもやっぱり支援員を確保してやるべきじゃないかと。今年度来年度、それで終わるならですが4年間もそんな不正常的な状態と言ってはなんですが、補助金についても10人緊急でやって10人超えればできる。緊急って4年間も緊急が続くのですか。

○議長（松本英隆君）

吉原議員、吉原議員、質問をしてください。

○11番（吉原経夫君）

だから、これは今年度は仕方がないと思いますが、来年度に向けて放課後児童クラブの定員をふやすように検討すべきじゃないでしょうか。これを機に。これ放課後児童クラブじゃないんですよ。ないでしょう、町長。

○議長（松本英隆君）

暫時休憩とします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前3時14分 休憩

午前3時14分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（松本英隆君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（古布真弓君）

先ほども申し上げましたとおり、恒久的にとは考えていないところでございます。児童クラブを実施するには決まった場所で行うことで届け出もしないといけないということもございます。ですので、他の公共、既存の公共施設を利用して事業を実施しようとするのであれば児童クラブとして指定するのは今の状況では難しいというところでございます。ですので、今回このような形をとって居場所づくり事業を実施するものでございます。

○11番（吉原経夫君）

以前、大治東部か、南部だったかな、ちょっと児童クラブ1つ足りなくて定員オーバーして2年間サテライトで八ツ屋でやりました。これも当然許可をもらってやったと思うんですよ。それ以降、国の方針が変わって厳しくなったとか私は聞いていないんですが、やる気になればできる。施設要件としては。ただ、社協さんがそこだけ定員ふえた分、支援員さんを集められるのか、やられるのかどうかという問題があると思います。それはまず町が定員をふやすと、施設はちゃんと既存のところできちんと申請出して国に認めてもらってやるという方針を決めれば解決していく。社協さんと話し合い、もしくは自前でやるか。とにかくそこは進んでいく話です。今年度やる来年度やるでそれで終わりだったら暫定的に仕方がないことと思いますが4年間も続くと、見込みだと。これは新しい、やっぱり定員をふやすように考えていかないと。だってサービスの内容が違うでしょう。今回見ても。だって利用料金が違う。ちょっと今年度利用料金どうだったか、ちょっとお聞きもしたいんですが、同じサービス内容じゃないんですね。利用料金も違うということは、やっぱりそこら辺今年度ある程度仕方がないとしても、来年度以降はちょっとそれは考えていただかないといけないと思うんですよ。ちょっと利用料金のこと、差がついている件、また今年度どうだったの件もあわせて質問いたします。以上です。

○子育て支援課長（古布真弓君）

以前、八ツ屋のコミュニティセンターで実施したときには児童室をお借りして実施いたしました。そちらにつきましては貸館対象の部屋になっていないところでございました。今回、西條のコミュニティセンターにつきましては貸館である場所をお借りして実施する。なおかつ利用される方になるべく支障のないような形で事業を実施する予定を

しておりますので、以前やりました八ツ屋でやったものとはちょっと違う対象になってきますので御理解いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○議長（松本英隆君）

暫時休憩とします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午後3時18分 休憩

午後3時19分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（松本英隆君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（古布真弓君）

今年度4月から実施したものにつきましては、負担はなしでやっておりました。以上です。

○議長（松本英隆君）

他にございませんか。

2番八神議員。

○2番（八神太紀君）

16ページの学校備品購入費についてなんですが、先ほどバッテリー式の階段昇降車を購入というふうにお聞きしたんですが、これ何台購入をして、階段を上ということは1階から2階、2階から3階というふうに上がると思うんですが、どのようなものをつけるのかをちょっと御説明いただくと助かります。

○学校教育課長（太田悦寛君）

備品購入費の階段昇降車ですが、台数については1台でございます。形としては移動式ということでイメージとしては台車の下にキャタピラーがついたような形のもので台車部分の上に車椅子をそのまま載せてキャタピラーで階段を上っていくというような形になります。以上です。

○議長（松本英隆君）

他に。

2番八神議員。

○2番（八神太紀君）

1台ということで今までそういう使われたことがなく今回買うかと思うんですが、今までは必要なかったのか。今回その必要性が出て購入したのかの理由をお願いします。

○学校教育課長（太田悦寛君）

来年度の教室配置が大治小学校のほう2年生が2階の教室を想定されておまして、

今1年生のお子さんなんですが、特別支援学級と交流学級である学級を行き来しているんですが、来年度は2階への移動というのが日常的に発生するということが想定されておりまして、それで今回購入に至った、予算を上げさせていただいたということでございます。今年度につきましては、1階同士でしたので上の階への移動というのはほとんど発生しておりませんので来年度に向けて購入をしたいということでございます。以上です。

○議長（松本英隆君）

他にございませんか。

5番鈴木康友議員。

○5番（鈴木康友君）

5番鈴木康友です。まず、13、14ページ子ども医療費。こちらについていま一度近年この時期での医療費についての補正はありませんでしたので、もう一度経緯と内容の説明をいただけると。また、インフルエンザ等が大変流行しておりますので本当にこの補正額で最終的に3月末までのこの年度の予算として、これが最終の補正として足りるのか。こちらについて伺いたいと思います。

続きまして、15ページ16ページの同じく学校備品購入費ということで、今るる説明もいただきましたが、こちらについて他の医療ケア児等々の入学された場合に規格というものがあると思うので、今の台車や新しい方が入ってきたときの車椅子等に汎用性が効くのか。その昇降する機械が。こういったものの汎用性、また、ほかの小学校、南小だけではなくてほかの小学校でそれが階段の幅とかできちんと使用ができるのか……

〔「大治小」の声あり〕

○5番（鈴木康友君）

ごめんなさい、大治小ですね。南小や西小、ほかの階段の形状でこれは適用するのかなというものは検討されたかどうかということを確認をさせていただきたいです。

○保険医療課長（水野克哉君）

子ども医療費につきましてですが、本年12月議会で医療費の1件当たりの増が見込まれるということで増額補正をさせていただきました。そのときにはまだ昨年10月から始まりまして16から18歳の拡大部分というところの見込みがまだ実績がございませんでしたので予測の範囲で再度積算をしたものの、実際にその数字が出てまいりました。そうしますとやはり約950名の受給者がおみえにはなるんですが、その方たちが1件当たりで見ますとほぼ全員の方が1回は受けているような内容になってまいりましたので、その立てた見込みと実績の差が今回の増額の補正につながったと考えております。

ニュースとかでインフルエンザとかというニュースもありますが、昨年と同じタイミングの同月比、それを見ながら伸び率をちょっとプラスで見込ませていただいておりますので、今年度においては足りる見込みであるというところでございますので、あくま

でも推測でございますがその分を見込ませていただいております。以上です。

○学校教育課長（太田悦寛君）

いろんなタイプの車椅子でも対応できるのかというような内容だったかと思いますが、今回購入を考えておりますものにつきましては、汎用性の高いもの、いろんなタイプの車椅子に対応できるようなものということで考えております。また、他の学校でも使用できるのかというところですが、大治小学校と大治南小学校につきましては、実際にデモンストレーションみたいな形で階段を上ってみるということをやっておりますので、どちらの学校も問題なかったということで確認しております。以上です。

○議長（松本英隆君）

他にございませんか。

5番鈴木康友議員。

○5番（鈴木康友君）

ありがとうございます。再質問でございますが、先ほどの14ページ民生費医療費ということで少し上振れ分も見て試算を、今の段階での試算をしていただいているということですが、大治町の18歳までの無料は入院も含まれておりますので、金額そのあたりの試算、どれぐらい多めにみているのかというのがもし実数でお答えできるのであれば教えていただきたいです。

そしてもう1つが先ほどの学校備品購入費につきまして、これ購入に関しての話とかではないんですが、災害時、能登の地震が近々ございましたので、そもそもが2階でそういった方々が教室に移動するということが計画上よろしいのかと。1階のほうがそもそも昇降なくていいじゃないかという考えにもなりますので、そのあたりはどのように学校の配置、教室のことについて考えた上で購入に至ったのか、どういうふうなのかちょっと教えていただきたいです。

○保険医療課長（水野克哉君）

見込みの試算につきましてですが、この拡大分の医療の反映がされましたのが令和5年12月からでございます。そのときその1年前、令和4年12月、令和5年1月というふた月分が拡大をしていない年と拡大をした月でございます。その伸び率を出させていただきまして、おおむね1.3倍ぐらいの医療費の伸びがあったということで、先ほど議員言われました入院というものもございまして、余り過大にならないようにそういったところも検討しながらおおむね大体1.4倍ほどの試算をさせていただいたところでございます。以上です。

○教育長（平野香代子君）

教室配置につきましては、学校でももちろん教育活動が円滑に進むように決めているところですが、先回も実は医療的ケア児運営委員会というのを設けておまして、やはり能登の地震がありましてその話題にもなりました。特に障害者の方々、そういう特別支

援学校でどうしているのという話もいろんな話題の中でまずは垂直避難よりも平行、水平なところで、例えば2階で、じゃあ2階でどこに地震があったときにはどこに行くということを考えたほうが現実的ですよという助言も実はいただいております。学校としてはその子が保護者のとても通常級の子たちと交流したいという強い願いを持っていらっしゃると思いますので、特別支援学級の子だけではなくていろんな子とという話になりますとその子の学年だけいつも1階ということはなかなか学校運営上、現実的ではないというふうに考えているところであります。

○議長（松本英隆君）

他にございませんか。

5番鈴木康友議員。

○5番（鈴木康友君）

済みません。では、これの車の運用ということでこれは説明いただいたとおり据え置き式ではなく、そのもの自体が昇降するキャタピラーの台車のようなものなので、今の学年が上がってさらなる違うフロアに移るとか他の例えば音楽室だったりとか違う特別教室などを利用する際にもこういったもので運用をしていくと。もしこれが今1台だと思うんですが、他の小学校と同時並列なくとはいけない場合はこれは増設したりとかいうことを考えているということでもよろしかったでしょうか。これは今後の話になるので今の検討でお答えいただける範囲で結構です。

○学校教育課長（太田悦寛君）

今後についてですが、他の学校でも同じように必要になった場合は購入ということも考えております。

○議長（松本英隆君）

他にございませんか。

1番池田議員。

○1番（池田耕介君）

1番池田耕介です。13、14ページの子どもの居場所づくり事業費について、今後4年ほど運用を考えていると先ほど答弁でありましたが、今回出している事業の概要で定員20名ほどとなっていますが、もし例えば今後4年間の中でここにもおさまらないぐらい例えば子供がふえてしまったというときに、ここはマットを買っちゃったからこの場所も使って、さらに別の場所もというふうに子供のいる箇所が多くなると子供のかかわりからいってもであれば、もっと大きいところ、例えば2カ所とかいうふうがいいのかなと考えるんですが、今後のその4年間使おうと考えている、今後の増加の見込みがもしわかっていれば教えていただきたいです。

あとは、15、16ページの先ほどの学校備品、階段昇降機の件に関してですが、これ例えば5年先とかになりますがこの子がもし中学校に上がったときにこれは中学校

に持っていくのか、この先も小学校で使う子が出る可能性があるから小学校には置いておいて中学校はまた別に新たに買うのか。そのあたり持っていくことができるものなのか、教えていただきたいです。以上です。

○子育て支援課長（古布真弓君）

来年度におきまして定員は20名ほどと予定しております。ただし、こちら実施する場所におきまして児童クラブの面積要件でいきますと60名ほどまでは受けられるような広さはございますので、その年度にあわせて同じ場所で人数をふやすことも可能ではありますのでその年度の状況を考慮しながら進めていきたいと考えております。

○教育部長（水野泰博君）

今議員の質問ですと、医療的ケアの子が1人でずっといくのであれば中学校に上がった際には中学校に持っていくつもりでありますし、途中でまたほかの医療的ケア児の子が入ってきたときに、要は重なったようなときはまた複数台必要であろうということと、もう一つやっぱり障害の程度によってこの今回の昇降機で全て対応できるかどうかというのは難しい方もいるかもしれないので、将来的には本当に必要であればエレベーターとかそういったことも考えていかないといけないのかなど。その場その場でその子の症状に合わせた検討をさせていただきたいと思っております。以上です。

○議長（松本英隆君）

他にございませんか。よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで質疑を終わります。

お諮りします。

議案第1号は、会議規則第39条第3項により委員会の付託を省略したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

異議なしと認めます。

ただいま議題となっております議案第1号は、委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。

まず、原案に反対の方の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（松本英隆君）

これで討論を終わります。

これから議案第1号を採決します。

議案第1号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[起立 全員]

○議長（松本英隆君）

起立全員です。したがって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全部終了しましたので会議を閉じます。

これで令和6年2月大治町議会臨時会を閉会します。

~~~~~ ○ ~~~~~

午後3時34分 閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長 松 本 英 隆

署名議員 林 健 児

署名議員 吉 原 経 夫